

科名 外科
対象疾患 胃がん
プロトコール名 オブジーボ+SOX(胃癌)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	14	...	21
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓				
2	点滴注	側管	オブジーボ	360mg	30分かけて	↓				
			生食	100mL	投与前後生食フラッシュ					
3	点滴注	側管	パロノセトロンバッグ	0.75mg	30分かけて	↓				
			デキサート	9.9mg						
			ファモチジン	20mg						
			ネオレスタール	10mg						
4	点滴注	側管	オキサリプラチン	130mg/m ²	2時間かけて	↓				
			5%ブドウ糖液	500mL	ルートごと変更					

内服 S-1 1回40mg～60mgを1日2回 d1～d14投与、d15～d21は休薬
★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル3(30%以上90%未満)

day2～4にデカドロン1回4mgを1日2回朝、昼食後に内服。(8mg/day)

<オブジーボ>

本剤作用機序により、過度の免疫反応による副作用が現れることがある。発現した事象に応じた専門医と連携すること。

特に注意を要する副作用:間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、肝炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害

infusion reaction、重症筋無力症、筋炎、1型糖尿病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓症

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロン)を使用し、投与前後に生食でフラッシュする。

生ワクチン、弱毒生ワクチン、不活化ワクチンとの併用により本剤のT細胞活性化作用による過度の免疫反応が起る恐れがあるので併用には注意すること。

<S-1>

14日間投与、7日間休薬

・体表面積(BSA)<1.25m²:40mg/回

1.25m²≤BSA<1.5m²:50mg/回

BSA≥1.5m²:60mg/回

<オキサリプラチン>

・必ず5%ブドウ糖液で希釈。(薬効がおちる。)

・アレルギー反応は他の薬剤と出現形態が違うので注意する。

(現在は4～16クール目、投与30分経過後に出現することが多いと報告されている。2007.10)

・デキサートは6.6、9.9、13.2、19.8mgで選択可。